

令和8年度 自己評価表

江田島市立江田島小学校

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					令和7年度	令和8年度		
学び続ける力の育成	・主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、児童自らがねばり強く学習に取り組もうとする力を育成する。	授業改善による学習意欲及び学力の向上	・「江小授業モデル」を基にして、見通しをもってねばり強く取り組み、学習活動を振り返らせ、次の学習につなげる授業づくりを行う。 ・基礎的・基本的な学力を確実に定着させるためにドリル学習を行う。 ・「家庭学習モデル」を基にして、児童自らが課題と向き合ったり、自ら学びを広げたりする自主学習に取り組ませる。 ・新聞を活用した教育（N I E活動）を行い、文字に親しむ。	「主体的な学び」が定着している児童の割合	78.7%	80%		
				・市販テストの平均点 ・市学力調査の目標値を上回った教科数	— 62.5%	70% 70%		
思いやりのある心の育成	・互いの個性や多様性を認め合い、安全・安心な学級づくりを実現し、児童自らが主体的に活動しようとする力を育成する。	自己実現力・自己効力感を向上させる取組の充実	・話合い活動を充実させるとともに教師による「評言」の工夫等により、温かく認め合える学級づくりを行う。 ・委員会、係活動、縦割り班活動等で児童が自分たちで計画し実行できるような自治的な活動を行わせる。 ・ボランティア活動や学級での活動等、他者のために働く姿を肯定的に評価する。	自己実現力・自己効力感がある児童の割合	80%	85%		
健やかな体の育成	・運動の楽しさを味わえる取組を推進し、体を動かす機会を習慣化させ、児童自らが体力向上を図ろうとする力を育成する。	進んで運動に親しむ児童の育成	・外遊びを奨励し、友達と関わりながら体を動かすことの楽しさを味わうことができるよう、各学級で遊び方等を工夫する。	外遊びをする児童の割合	68%	75%		
		基本的生活習慣の確立	・発達段階に合わせて睡眠の大切さについて指導し、適切な時間に就寝するよう生活リズムを整えさせる。	就寝時刻が適切な児童の割合	79%	85%		
信頼に込める学校	・保護者や地域住民等の協力を得ながら学校運営を行い、家庭やP T Aと連携・協働した取組を推進する。	地域とともにある学校づくり	・児童は地域に出かけ、地域の方には学校に来ていただく機会を多く設ける。 ・地域の方や保護者の方々の知見を教育活動に生かす。 (シン・江小まつりの開催)	保護者アンケートの肯定的回答の割合	91.3%	92%		
働き方改革の推進	・働き方改革を推進し、教職員が健康でやりがいをもってはたらくことができる環境を整備する。	教職員が健康で、元気・笑顔で働ける組織づくり	・教職員アンケートを定期的実施し、業務改善に向けた取組を継続する。(スクラップできる方策を実行) ・教職員それぞれが自律した働き方を実行する。	「仕事にやりがいがある」と感じている教員の割合	90%	90%		